

# 「主な活動（概要）」（中学校）

【学校名】網走市立第二中学校				
【活動の名称】 「誓い」の啓発				
【活用した資源】生徒会活動、「誓い」				
【対象学年と活動の時期】全学年 通年				

(項目イー観点③環境づくり)

【活動の概要】  
・生徒会が中心となって昼の放送で本校の伝統である「誓い」を全校生徒に浸透させる。

【ねらい】  
・生徒自身が「誓い」に基づき、考え、行動できるようにする。  
・学校生活を生徒自身の手でよりよくしようとする心を育てる。

【活動の流れ】  
① 次の三つの項目を毎週水曜日に昼の校内放送で生徒会本部役員が誓いの啓発と具体的に取り組み目標を放送する。

「誓い」  
一 私たちは二中生として、自分で判断できることを誓います。  
二 私たちは二中生としてお互いを信頼し、住みよい学校をつくることを誓います。  
三 私たちは二中生として誰もがルールを守り、意見を述べることを誓います。

② 日常の教育活動においても、「誓い」を踏まえて実施する。

「誓い」が守られていないので、もっと生徒の実態に合うよう、生徒会本部から改訂しようという提案がありました。



〈誓いに対する思いを述べる生徒〉



〈「誓い」の啓発放送の様子〉

学年	立場	理由
1.A	反対	<ul style="list-style-type: none"> <li>- 意識できる方にかけてみたい。</li> <li>- 自分たちで考えた方が意識が高まると思ったから。</li> </ul>
1.B	賛成	<ul style="list-style-type: none"> <li>- 信頼を守る。</li> <li>- 意識を高める活動</li> <li>【具体策】</li> <li>- ポスターで広める。</li> <li>- 集会で広める。</li> <li>- 道立ペースで誓いを広める。</li> <li>- 全校の場で誓いの歌を歌う。</li> <li>- 立席でのよびかけ。</li> <li>- あいさつ運動＋α。</li> <li>- 朝の会で歌う。</li> </ul>
2.A	賛成	<ul style="list-style-type: none"> <li>- まだできることがあるから変えたい。</li> <li>- まだ覚えなければならぬ。</li> <li>- 変えてもまた期に結果にならぬ。</li> </ul>
2.B	賛成	<ul style="list-style-type: none"> <li>- 誓いが悪いわけではない。</li> <li>- 誓いはその軌跡に変えてはダメ。</li> <li>- 誓いの期に自分たちを変えたい。</li> <li>- 誓いが悪いわけではない。誓いが変わると二中生が混乱する。</li> <li>- 自分たちが変わる努力をすれば変えなくてもよい。</li> </ul>
3.A	賛成者	<ul style="list-style-type: none"> <li>- 具体的な改訂の方法が提示されていないので反対。</li> <li>- 1年ごとに変えると言っていたが、今年も変更しない誓いが、よりしなくなる。</li> <li>- まだ生徒として取り組んでいないことがあると思うので、そこを改善してからにすべき。</li> <li>- 誓いは1つの固定された目標だから変える必要はない。</li> <li>- 誓いが生徒に合わせて変わるのではなく、生徒が誓いに合わせて変わるべき。</li> <li>【3年生ができることの具体例】</li> <li>- 具体策を押し、積極的に本部会を支援する。</li> <li>- 3年生から注意し、見本になる。</li> <li>- 3年生が協力的な姿を見せる。</li> <li>- 3年生がポスターをつくってあげる。</li> <li>- 3年生が「誓い」を覚えていくもの。</li> </ul>

(改訂に賛成)  
・自分たちで考えた方が、意識が高まる。

(改訂に反対)  
・守れないのなら、守ろうと努力する。  
・「誓い」を変えるのではなく、自分たちが考へるべき。


〈「誓い」の改定を求めた本部会とそれに対する意見〉  
「誓い」の実現に向けて自分たちが頑張っていこうという意見が多く見られました。「誓い」が生徒にとって大切なものであることが分かりました。

【いじめの未然防止に関わる本活動のメリット】  
・生徒総会や行事の話合い活動で、「誓い」を踏まえた意見交流が行われた。  
・ルールが守られなくなったときに学校全体が「誓い」に立ち返ることにより、自分たちの行動を見直すことができた。

- 「誓い」に対する思いが一層強くなり、自分たちの「誓い」に基づき、よりよい学校を築いていくための行動について考えることができています。
- 「誓い」をとおして、ルールの必要性についても生徒が主体的に考え、規範意識を高めることにつながっています。



# 「主な活動（概要）」（中学校）

【学校名】清水町立清水中学校	<table border="1"> <tr><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> </table> <p>(項目ア—観点②絆づくり)</p>																
【活動の名称】 ようこそ清水中学校へ ～先輩から後輩へ『組体操』の伝統を継承する合同練習～																	
【活用した資源】体育祭伝統種目『組体操』																	
【対象学年と活動の時期】全校生徒 5月																	
【活動の概要】 ・体育祭伝統種目である『組体操』の成功に向けた練習の進め方やコツ、取り組む姿勢を伝承する。																	
【ねらい】 ・より安全に練習が進められるよう、先輩のサポートを充実させる。 ・3年生が主体となって練習をサポートし、入学してまだ日の浅い1年生が組体操の練習に不安なく取り組めるようにする。 ・20年以上の伝統がある清水中学校の組体操へ臨む姿勢を、先輩から後輩へと確実に受け継がれていく場面とする。 ・先輩の見事な手本を目の当たりにすることで、成功イメージをもたせると同時に「あんな演技がしたい」というモチベーションを高めさせる。																	
【活動の流れ】 ①学年ごとに組体操に向けたオリエンテーションの実施 ②学年ごとのパート練習の実施 ③体育館でのパート練習（1・3年合同、2・3年合同、1・2年合同の計3パターン）																	
<p>1年生と3年生 合同練習での一コマ 「3年生ってすごい！」</p>	 <p>3人の呼吸を合わせて一気に持ち上げるんだよ！</p> <p>うわ～！高い！！</p>																
 <p>なるほど！</p>	<p>花が咲くときの手の表情はこうするといいよ！ やっごらん。そう！そんな感じ！</p>																
<p>④体育館での通し練習（1・3年合同、1・2年合同の計2パターン） ⑤体育館での全体練習 ⑥グラウンドでの全体練習 ⑦リハーサルと反省を踏まえた練習 ⑧本番発表 ⑨感想や気付いたことのシェアリング</p> <p>いっしょの時間を過ごすことで、 先輩・後輩の絆が生まれていきます。</p>																	
<p>(練習後の1・2年生の感想)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・難しい技も失敗しないので、3年生はすごいと思った。</li> <li>・2、3年生が細かなところまで丁寧に教えてくれたおかげで、上手くできてうれしかった。</li> <li>・来年は、今年の3年生みたいに6段ピラミッドができるようになりたい！頑張るぞ！！</li> </ul>																	
【いじめの未然防止に関わる本活動のメリット】 ・2、3年生が1年生に手取り足取り丁寧に演技を指導することで、より深い信頼関係が築かれ、学校全体に一体感が感じられるようになった。 ・『清水中学校組体操』が、生徒の手によって確実に後輩へと引き継がれていくようになった。																	

- 組体操だけでなく、体育祭の他の種目の練習でも3年生がしっかりとリーダーシップを取って練習を進めることにより、学校全体の一体感を育むことができます。
- 年度の早い段階で絆が生まれ、文化祭での合唱練習など、他の行事においても意欲的に取り組むことにつながっています。



# 「主な活動（概要）」（中学校）

【学校名】 標茶町立標茶中学校	<table border="1"> <tr><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> </table>																
【活動の名称】 体育祭での団活動																	
【活用した資源】 団活動																	
【対象学年と活動の時期】 全学年 6月～7月																	
<b>【活動の概要】</b> ・上級生が下級生に種目練習の指導をするといった縦割りによる活動を取り入れる。																	
<b>【ねらい】</b> ・縦割りの活動を取り入れることにより、生徒の自主性・主体性の伸長を図る。 ・上級生が下級生に種目練習の方法などを教えることを通して、リーダー性を養うとともに、下級生を思いやる心情を育む。																	
<b>【活動の流れ】</b> ①各学級において、団長（副団長）や種目リーダー等を選出する。 ②団ごと（A団・B団）において、結団式を行う。 <div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 10px; margin: 10px 0;"> <b>○結団式の内容</b>            1. 始めの挨拶            2. 各学年の決意表明            3. 団長の挨拶            4. 団対抗種目・各リーダー紹介            5. 全員で円陣            6. 終わりの挨拶         </div> ③団長・副団長を中心に、応援の仕方（どんな言葉で応援するか、振り付けをどうするか）を考える。 ④種目リーダー中心に、団種目の練習方法を考える。 ⑤種目練習の間合などを使って、応援の仕方を種目リーダーが団のメンバーに教え、メンバー同士で練習する。 ⑥団種目練習の時間の冒頭で、種目リーダーが練習の仕方を説明し、練習を行う。 ⑦体育祭練習や総練習の中でも、随時、教えてもらった方法で味方の応援を行う。 ⑧体育祭当日、出番のない生徒は適宜応援をする。 ⑨体育祭の翌々日、体育祭の反省を行う。 ⑩団ごとに解団式を行う。 <div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 10px; margin: 10px 0;"> <b>○解団式の内容</b>            1. 始めの挨拶            2. 各学年の感想の発表            3. 団体校種目・各リーダーの挨拶            4. 団長の挨拶            5. 終わりの挨拶         </div>	 <p style="text-align: center;">〈結団式〉</p>  <p style="text-align: center;">〈全員で円陣〉</p>  <p style="text-align: center;">〈A団・B団の応援旗〉</p>																
<b>【いじめの未然防止に関わる本活動のメリット】</b> ・上級生は下級生に対して思いやりの気持ちを持ち、上級生が下級生に練習方法などを教える様子を見て、下級生は上級生へのあこがれの気持ちをもつことができた。 ・普段、あまり関わりのない生徒同士が交流することで、コミュニケーション能力の高まりが見られるようになった。																	

- 異年齢集団による交流を通して、各学年の役割や責任を自覚するようになり、他の行事においても、役割や責任を果たすことができるようになっています。
- 同学年だけでなく、異学年でコミュニケーションを図るようになり、学校全体で望ましい人間関係を築くことにつながっています。





# 「主な活動（概要）」（中学校）

【学校名】根室市立光洋中学校	<table border="1"> <tr><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td style="background-color: black;"></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> </table> <p>（項目ア—観点②絆づくり）</p>																
【活動の名称】 全校構成的グループエンカウンター ～光中ゲーム～																	
【活用した資源】生徒会活動																	
【対象学年と活動の時期】全学年 月1回																	
<b>【活動の概要】</b> ・全校集会の最後の20分間を使い、生徒（主に生徒会）が企画した構成的グループエンカウンターを行う。																	
<b>【ねらい】</b> ・全校生徒で行う構成的グループエンカウンターを通して、コミュニケーション能力の基礎を養い、人間関係づくりの力を育む。																	
<b>【活動の流れ】</b> ◎準備 ①全校集会前に生徒会執行部で話し合い、「光中ゲーム」の内容を決定する。 ②当日の進行の役割分担やルールを決め、リハーサルを行う。 ③朝の会でゲームの目的や概要の説明をし、必要に応じてチーム決めを行う。 ④ゲームの内容や目的をポスターで宣伝する。 ◎集会時 ⑤生徒会執行部が説明及びデモンストレーションを行った後、全校生徒で構成的グループエンカウンターを行う。 ◎反省 ⑥実施後、参加した感想を集約し、その結果を生徒会便りで紹介する。																	
																	
〈執行部のデモンストレーション〉	〈学年の枠をこえたチーム編成〉	〈3年生を中心に作戦タイム〉															
																	
ゲームの様子①（互いに声を掛け合ってピンポン玉を落とさないでつなぐ様子）		ゲームの様子②（異学年生徒が隣になるよう配慮）															
<b>＜生徒の感想＞</b> ・必ず違う学年の隣にいないといけないというルールで、全学年の生徒と交流することができた。 ・みんなで協力してやったから楽しかった。 ・他の学年の人と仲よくなった。 ・先輩と話せてよかった。 ・最初は先輩と一緒に緊張したけど、やってみると緊張を忘れてすごく楽しかった。 ・学年が違っていつもあまり話す機会がなかった人と、このゲームで話せてよかった。																	
<b>＜留意点＞</b> ・全校生徒が学級や学年をこえて楽しめるようなゲームを選定するよう促す。 ・ルールの説明は短時間で簡潔にできるよう促す。 ・デモンストレーションの練習は入念に行う。 ・全教師にもゲームの内容を周知し、学校全体の取組として行う。																	
<b>【いじめの未然防止に関わる本活動のメリット】</b> ・学年の枠を超えた活動を通して、互いに声が掛けやすくなる等、学校全体の雰囲気明るくなった。 ・学級対抗の活動を通して、学級の間関係が深まり、様々な教育活動に生かすことができるようになった。																	

- 全校生徒が集まる機会を利用し、学級や学年の枠を越えた構成的グループエンカウンターをとおして、普段の学校生活では実現しない交流となっています。
- 毎月、継続的に集会を行うことにより、生徒会執行部の生徒を中心とした絆づくりが深まり、他の生徒会活動にも全校生徒が一層協力して取り組むことにつながっています。

